

2月議会終わる(3月10日) 4月12日までは議員不在に

市民に願い実現に奮闘 日本共産党名古屋市議団

2月定例会は2015年度一般会計予算など65議案(予算関連議案のみ)を可決し、閉会しました。

市民犠牲の14議案に反対

日本共産党名古屋市議員団は、名古屋市国民健康保険特別会計予算など52議案に賛成。しかし、市民に負担増を強いるとともに、市民サービスと行政責任を後退させる一方で、大企業・大金持ち優遇の市民税減税を続けながら、名古屋駅前開発など新たな税金の浪費につながりかねない大型開発を推し進める一般会計予算案など13議案に反対しました。

日本共産党名古屋市議団は、国の悪政から住民を守る防波堤となり、暴走政治にストップをかけ、住民の暮らしを守る市政実現に全力をあげます。

意見書2件を提案・・・日本共産党

意見書は5件を採択しました。各会派から10件が提案され、党市議団が提案した「イスラム国」によるテロ行為の根絶」「愛知県における看護職員の増員の実現」の2件の意見書は、他会派が反対し、いずれも成立しませんでした。

実現した市民要望

- ・国保料の引き下げ 1人当たり7200円
- ・保育料を据え置き(7年連続)
- ・敬老パスの負担金据え。ICカード化へ
- ・地域巡回バスの運行時間帯拡大
- ・子宮頸がんワクチン副反応調査 など



不要不急の公共事業(金額は2014年度分)

- ・金城ふ頭開発 5億8700万円
- ・名古屋駅周辺の巨大地下通路 6200万円
- ・SL等による都市魅力向上策検討 2000万円
- ・リニア開業を見据えたまちづくり 1億1500万円
- ・国際展示場の整備調査 2000万円

市民サービスの低下・負担増

- ・介護保険料値上げ。基準額月額454円の負担増
- ・障害者福祉施設運営費補助金の廃止
- ・マイナンバー制に向けたシステム開発経費23億円
- ・公立園7か園の民営化準備予算6億円を計上。

28人だった減税が11人に、市議会は16会派に

名古屋市会の会派構成 [2011年3月24日市議選直後]

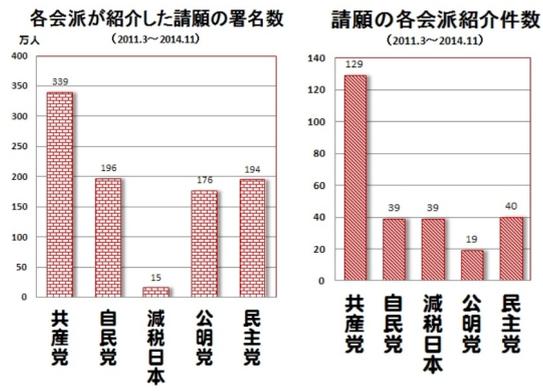
減税日本ナゴヤ	28
自由民主党名古屋市議員団	19
公明党名古屋市議員団	12
民主党名古屋市議員団	11
日本共産党名古屋市議員団	5

名古屋市会の会派構成 [2015年2月12日現在]

自由民主党名古屋市議員団	18
公明党名古屋市議員団	12
民主党名古屋市議員団	11
減税日本ナゴヤ	11
日本共産党名古屋市議員団	5
民政クラブ	3
生活の党と名古屋のなかまたち	3
名古屋維新の会	1
名古屋市民クラブ	1
市民クラブ	1
北無所属の会	1
市民主権クラブ	1
創名会	1
中川・市民の会	1
地方分権改革会	1
無所属クラブ	1
ナゴヤの会	1
民和会	1
政和クラブ	1

4年前の選挙直後は、減税が28人で第1党。今では11人で民主党と並ぶ第3党に。一人会派が激増し、4年前の5会派から19会派に。議運に参加できない諸派が14会派18人になりました(ピーク時21会派、諸派16会派)。

請願の紹介件数は129件、署名数は339万筆でした(2014年11月議会まで)。この声をもとに、本会議でも繰り返し質問して、願い実現の先頭に立っています。



本会議での1人当たりの発言回数(2011年3月～2014年9月。質問や討論の回数)

